



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 伊藤 淳

令和4年4月13日 No.1

「出会いを大切にしてお洒落な1年に」

4月6日の始業式、そして7日には新入生を迎えて入学式が実施され、1年生161人、2年生155人、3年生128人の計444人で令和4年度、創立60周年の年が始まりました。また、特別支援教室拠点校としてもスタートします。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、「信頼・温もり・笑顔」をキーワードに、大人になる練習をし、夢をかなえる土台を築く生徒の育成を目指して学校づくりに取り組んでまいります。保護者・地域の皆さまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

4月は新たな出会いの時期です。入学式の日、新入生の皆さんの机の上には、三角形に折られた画用紙に「祝入学」と書かれた各自の名前の表示が置かれていました。その用紙の内側にはこの3月に卒業した3年生からのメッセージが書かれています。入学式後の夕方、校内を歩いていた時に、あるクラスの1枚をめくってみると次のようなことが書かれていました。

「名前も知らない君へ」

ご入学おめでとうございます。これから先、初めてのことだらけの生活だと思います。新しい先生、新しい友達……。不安な気持ちが大いだと思います。3年前、私たちも同じような思いで入学しました。でも大丈夫。五中の先生方や先輩が支えてくれます！

実際に顔を合わすことはないけれど、この手紙が君の支えになってくれるとうれしいです。

卒業した3年生の優しい思いが伝わってきました。卒業生の姿を思い出し、とても温かい気持ちになったと同時に卒業生への感謝の気持ちでいっぱいになりました。1年生の皆さんとは顔を合わすことはないかもしれませんが、これも素敵な出会いです。

人は一生のうちでたくさんの人と出会います。その出会いがその人の人生に大きな影響を与えることもあります。茶人の千利休（せんりのきゅう）は『小さな出会いを大切に育てていくことで、人生の中での大きな出会いになることもある』という言葉を残しています。千利休は人間関係を非常に大切にしていたそうです。人生においてその相手と出会えるのは、今その瞬間のたった一度限りかもしれない、だからこそ、小さな出会いを大切に育てていくことで、今後の人生を変えるような大きな出会いになることもある、という意味です。

出会いを大切にすることで新しい道が開けます。誰かとの出会いにより、考え方が変わったり、また、他の人とのつながりができたりします。出会いを大切にするとは、出会った相手を思いやることです。相手の立場に立って考え相手の気持ちを大事にして行動する、私はあなたを大切に思っていますという気持ちが伝われば、今日の出会いはただの出会いから、いい出会いに育っていくのだと思います。

本校は今年創立60周年を迎えます。3月に卒業した卒業生をはじめ、多くの先輩方や先生方、地域に支えられています。私たちはこの府中五中で出会いました。この出会いを大切に、良い伝統を引き継ぎ、先輩たちにも誇れるような素敵な1年にしていきたいと思います。